

タイ反政府デモと株価

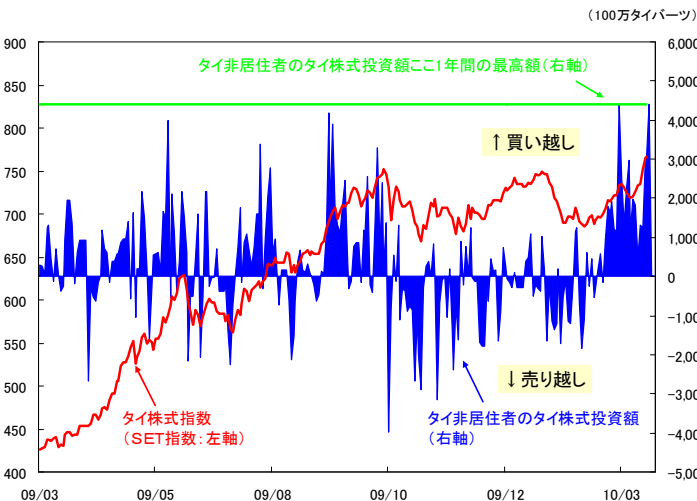
- ✓ タイの政情不安は懸念材料ではあるが、タイ株式市場への非居住者の投資は記録的な流入超が継続している。
- ✓ タイの株式市場を動かす要因は、今のところ、ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件) > 政情不安となっている。

タイでは反政府デモの規模が拡大しており、政情不安が広がっているにも関わらず、タイの株式市場はリーマンショック後の戻り高値を示現しました。タイ非居住者のタイ株式投資額はここ約1年間の最高流入額を記録しており、政情不安よりも、良好なファンダメンタルズが株式市場のテーマになっていると考えられます(図表①参照)。

近年、タイの株式市場はファンダメンタルズとの連動性が高まっており、健全な市場となっています。実例を挙げると、図表②: ビジネスセンチメント(経済動向の先行きの方向性を表す)の改善がタイの株価上昇につながっています。図表③: ビジネスセンチメントの改善は雇用の改善につながり、それがタイの消費を押し上げ、株価もこれに連動しています。図表④: タイの輸出も改善しており、株価上昇の要因になっています。

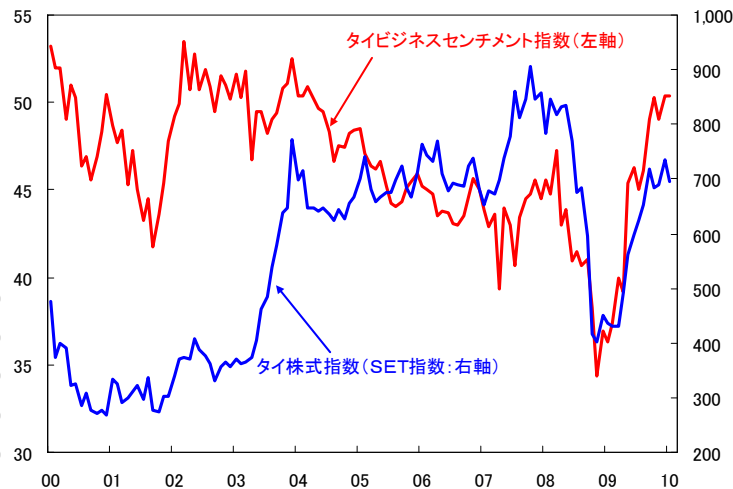
タイの政情不安には今後も注意が必要ですが、投資家の判断は今のところ、タイのファンダメンタルズの良さ > 政情不安となっており、株式市場への資金流入は衰えていないようです。IMFによるタイのGDP予想では2010年が3.7%、2011年が4.5%との良好な予想であり、ファンダメンタルズに支えられたタイ株式の堅調推移が継続するのかが要注目です。

【図表①】



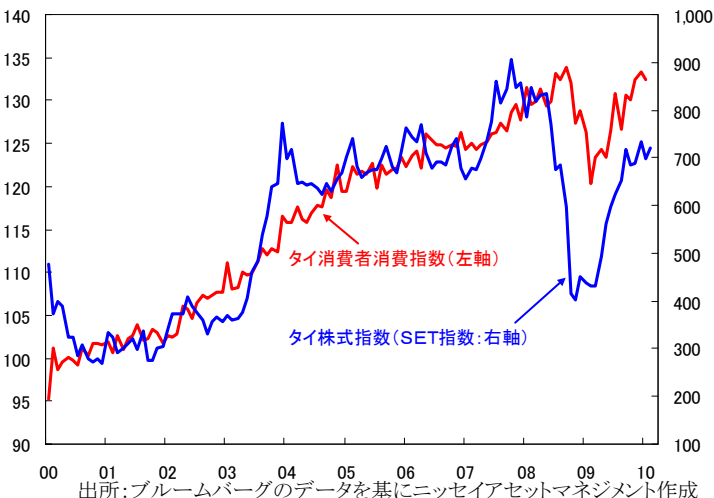
出所: ブルームバークのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

【図表②】



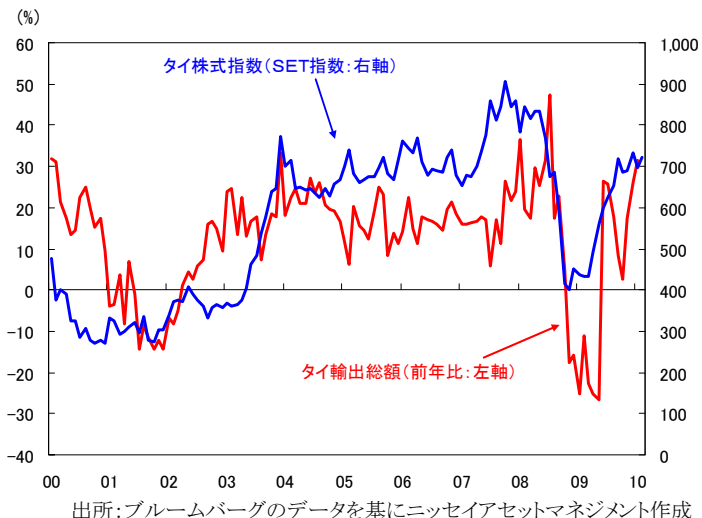
出所: ブルームバークのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

【図表③】



出所: ブルームバークのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

【図表④】



出所: ブルームバークのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

